

明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センターの 管理運営状況報告(2024年度)

施設所管課	市民生活局市民協働推進室 コミュニティ・生涯学習課
-------	------------------------------

1 指定管理者

- (1) 指定管理者 一般財団法人明石コミュニティ創造協会
 (2) 指定期間 2023年4月1日～2028年3月31日
 (3) 管理体制 財団職員32名（正規職員14名、パート職員18名、他業務との兼務職員14名含む）

2 評価項目

(1) 利用者アンケート

① ウィズあかし利用者アンケート調査結果

（実施期間：2024年12月3日～2025年1月31日 回答数：928件）

質問項目	2024年度						2023年度					
	ほぼ毎日	週1.2回	月1.2回	半年1.2回	初めて	無回答等	ほぼ毎日	週1.2回	月1.2回	半年1.2回	初めて	無回答等
利用頻度	0.6%	26.5%	46.4%	12.4%	5.7%	8.4%	1.6%	26.5%	46.4%	12.4%	5.7%	7.4%
質問項目	0～30代	40～50代	60代	70代	80代以上	無回答	0～30代	40～50代	60代	70代	80代以上	無回答
年齢	12.6%	23.9%	22.4%	31.5%	9.2%	0.4%	14.6%	21.4%	19.8%	32.1%	10.7%	1.4%

② 利用者からの主な要望とその対応等

- ・フリースペースに消しカスを捨てるゴミ箱をとの要望に対し、お試しで「消しカスお掃除セット」を設置してみることにした。
- ・トイレのせっけんがうすいとの声に対して、手が荒れるので薄い方がよいという声もあり、再度濃さの調整をすることにした。

(2) 事業達成度

① 事業・業務の実施状況

運営業務	<p><開館日数：307日 総入場者数：322,020人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き館内5か所に意見や要望を記入できるように机を常設し、利用者が意見や要望を発信しやすい場を設けた。ご意見受付46件 ・「8階総合窓口=貸室の手続き」というイメージを変化させるために、レイアウトや備品などをリニューアルし、相談・コーディネート機能というイメージの周知を図る。 ・子午線ホールの利用を促進するために「シンプルプラン」を導入した。
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による毎朝清掃作業の実施や清掃スタッフを定期的に巡回させ、施設利用直後に清掃を行った。 ・適切な保守・点検を定期的に実施し、円滑な施設の管理運営を実施した。 ・施設老朽化の状況を把握し、設備に不具合があれば修繕を行うなど適切に対応した。 ・和室の畳の張替え、学習室802のロールカーテン取り換えなどを実施した。

実施事業	<p>・合計24事業を実施。主なものは以下のとおり（一部延べ人数）。</p> <p>(1)生涯学習事業の推進</p>	
	シビックプライドを醸成するための「あかしウェルカムブレイス」の設置	「明石のまちを楽しむMAP あかし×パン学編」をテーマにした特設ラック設置など11企画実施。
	新たな活動につなげるコーディネート	講師カタログWeb版の利用促進のチラシ発行。
	つながる本棚 hito - haco の運営及びブックスポットへの支援	・オーナー募集説明会を実施した。 ・まちナビ AKASHI にて「明石まちなかブックスポット」の新規ホームページ公開など広報強化。
	まちの魅力と出会うための地域学講座の実施	あかし楽では、パンを通じて明石を多角的に学ぶ4講座実施 参加者：102名
	まちをより深めるための「マイあかし学学会」の企画・準備	
	子育て・ユース世代支援強化による全世代への学習機会の検討	3企画実施 参加者：46名
	あかし学実行委員会	2回開催
	公益財団法人明石文化国際創生財団と共にアートマネジメント講座「障がい者の舞台芸術鑑賞への合理的配慮に関する研修」	1回開催 参加者：19名
	(2)生涯学習活動・地域で活躍する人材の発掘及び育成支援	
「みんなの学校」等を通じた人材発掘と市民講師の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ屋台、「今日の終わりにちょこっと夜学 vol2」2回開催 参加者：24名、ふりかえり会開催。 ・アートパフォーマンスフェスタ インあかし実施。 ・ウィズフェス 2024 みんなの学校開催

		<ul style="list-style-type: none"> ・仲間参加者を広げる為の講座・ワークショップのつくりかた講座 3回開催 参加者：27名
	ウィズあかし登録メンバーズ制度を通じた人材発掘と育成	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団数：228 ・フリースペースでのイベント：271件 ・登録メンバーズの交流・意見交換会「ウィズゆう」3回実施 参加者：56名

(3)市民活動の支援及び地域、行政との協働の推進

ステップアップのための講座や交流会の開催	6企画実施、 参加者：166名（オンライン参加者含む）
SNSやメール等を活用した活動の参考になる情報の発信・共有	明石ボランティア・マッチング制度「ボラ×マチAKASHI」公式Line友だち登録者数：104名 ボランティア募集件数：18件
エリア別・テーマ別の交流・活動機会の検討及び実施	・明石市「市民ファシリテーター養成講座（応用編）：連携 明石コラボミーツ～みんなのひらめき交流会～@大久保（事前研修含む）参加者：65名

(4)男女共同参画・女性の活躍推進

男女共同参画に関する先駆的なテーマの普及啓発	パープルリボンキャンペーン（女性に対する暴力をなくす運動）など7企画実施 参加者：749名
当事者・家族等に対するエンパワメントセミナー	「対人援助職のためのマインドフルネス講座」など4企画実施 参加者：190名（延べ人数含む）
多様なチャレンジを応援するキャリアデザイン・ライフデザイン支援の実施	「メイク・ヘアスタイル 所作と笑顔 講座」など5企画実施 参加者：117名
自助グループの立ち上げ、運営支援に向けた準備	立ち上げ・運営支援制度の広報、申請受付を実施。

(5)関係機関・団体、ネットワーク組織と連携した事業等の推進

エンパワメントの幅を広げるための他機	関係機関連絡会議など3企画実施
--------------------	-----------------

関連携推進		
	他機関・ネットワーク団体等との連携事業の実施	あかし若者サポートステーション／ボランティア活動の場提供など3企画実施 参加者：79名（延べ人数含む）

(6) 生涯学習、市民活動、男女共同参画が連動した事業

複合型大型イベントの実施	「ウィズフェス2024」 参加者：886名（延べ人数）
誰もが参加できる多様なコミュニティサロンの開設	「Like café つむぎ」等、オープンなサロン2企画実施、参加者：362名 「ミモザの会」（クローズドなサロン）毎月1回開催 参加者44名（延べ人数）
9階稼働率向上へ向けた取り組み	「ひとつぶのたねクラシックコンサート」 3回開催 参加者523名（延べ人数） 明石文化国際創生財団：共催

(7) 各種相談

生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネートを行う	相談：299件、コーディネート：28件
性別に関わらず様々な悩みや就労についての相談を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための相談 電話：292件、面接：205件 ・女性のための法律相談 34件 ・就業相談 面接：206件 ・履歴書・職務経歴書の作成相談：64件 ・カードで発見！適職のヒント：41件 ・出張就労相談：21件 ・女性のためのチャレンジ相談（県共催） 面接：21件 ・男性のための電話相談：21件 ・子育て支援センター「ぴよぴよミニ講座」：参加者26組（オンライン含む）

②施設等の利用状況

実施状況（実績）	2024年度	2023年度	2022年度
利用者数（有料施設）	190,863人	171,300人	151,146人
利用回数	8,482回	8,212回	8,033回
稼働率	68.9%	66.5%	65.4%

(参考) 2024年度 各貸室の利用状況

	稼働率（%）	利用件数（件）	利用人数（人）
学習室 701	73.2	862	15,807
学習室 702	79.1	580	8,233
学習室 703	73.1	568	9,262

小計	74.6 (2019 73.4)	2,010	33,302
学習室 704	72.9	697	31,649
学習室 801	80.5	817	25,709
学習室 802	74.6	622	9,885
学習室 803	72.1	577	12,881
学習室 804	84.7	663	5,035
学習室 805	72.0	589	2,990
調理実習室	38.9	277	4,664
和室	53.8	426	5,370
子午線ホール	56.2	309	51,913
リハーサルスタジオ	47.5	362	3,940
音楽練習室 1	80.6	695	1,863
音楽練習室 2	54.0	438	1,662
小計	67.3 (2019 63.4)	6,472	157,561
合計	68.9 (目標 68.1) (2019 65.7)	8,482	190,863

(3) 事業収支

① 収支状況

(単位: 千円)

項目	2024年度	2023年度	2022年度
収入合計(A)	141,425	146,144	141,269
指定管理料	91,817	95,817	95,817
利用料収入	46,176	47,373	44,219
内訳			
実施事業収入	1,938 (内 指定事業 1,031、独自事業 907)	1,442 (内 指定事業 603、独自事業 839)	1,199 (内 指定事業 461、独自事業 738)
精算返戻金	0	0	△1,168
その他収入	1,494	1,512	1,202
支出合計(B)	144,053	149,184	143,282
内訳			
人件費	69,794	60,343	52,309
管理費(事務費、物件費、一般管理費を含む)	64,985	80,159	82,238
負担金	620	352	425
実施事業費	1,203 (内 指定事業 1,203、独自事業 1,168、独自事業 1,168)	1,836 (内 指定事業 1,836、独自事業 1,168)	1,622 (内 指定事業 1,622、独自事業 1,168)

	自事業0)	自事業0)	自事業454)
公租公課	7, 318	6, 438	6, 622
その他支出	133	56	66
収支(A-B)	△2, 628	△3, 040	△2, 013

②市の使用料等の収入状況

なし

3 その他評価の参考となる特記事項

- ・2024年度は第2期の指定管理期間の2年目であり、「イメージチェンジ」をキーワードに固定化されたイメージの変化を促進するため、「ウィズあかしを使いこなすための情報紙」を発行した。また、貸室利用者の感想、利用の様子(写真)など多様な使い方をSNSで紹介した。
- ・「ウィズフェス2024」について、イベントの雰囲気や出展内容が固定化されつつあることが課題であることから、市民活動団体や市民講師の活躍の場を維持しつつ、出展者や出展内容の多様化を目指し「イメージチェンジ」を行った。その結果、市内企業の初めての出展や出展コンテンツ「サロン」の新設となった。また、「コンシェルジュブース」の機能を充実させ、ウィズフェスを通じて得た気づきや発見を次のアクションへとつなげやすくした。
- ・各事業において、各分野の推進や普及啓発を進めていくために、これまで以上に潜在的な市民へのアプローチが重要となってきていることから、申込者が少ないことが課題であるクローズドなサロン「ミモザの会」では、ウィズあかし専門委員会のアドバイスを受け、「具体的すぎないテーマ設定」とし参加しやすくした。また、女性活躍を推進していくための講座において、ウィズあかしと関わりが薄い「企業」にアプローチし、明石商工会議所の協力を得ることとなった。
- ・昨年度からスタートした「ウィズあかし専門委員会」(福祉や文化関係、その他企業の関係者6名で組織)で「市民活動支援」「生涯学習」「これまでの専門委員会を受けて、ウィズあかしの今後の方針や取り組みについて」をテーマに意見交換し、当専門委員会から様々な視点からのアドバイスをもらった。また、専門委員会の報告に基づき、「ウィズあかし運営委員会」を開催し、意見交換を実施した。
- ・あかし市民図書館との共催で、ウィズあかしと接点の少ない子育て層を対象にしたイベントや県男女共同参画推進員東播磨地域連絡会議と共に、男女共同参画社会の実現について、一人ひとりが理解を深める機会を提供したイベントを行った。それにより場所としての認知だけでなく、相談室などのウィズあかしの具体的な機能についての理解を深めもらうこととなった。
- ・第2期指定管理のコンセプトである「わたしとまちがつながる交流拠点」を目指し、提案事業であるまちとつながる編集室「ローカルグッド・あかし」のあり方や仕組みづくりを検討するために、他地域の活動事例の収集やヒアリングを行った。「ウィズフェス2024」の場を活用して、「明石のまちの気になる「謎」、「不思議」、「疑問」探しています。※解決できる人も探しています」と、明石のまちの気になることを聞いてみることを実験的に実施した。
- ・生涯学習活動・地域で活躍する人材の発掘及び育成支援に関する取り組みとして、「仲間・参加者を広げるための講座・ワークショップのつくりかた講座」全3回の連続講座を実施し、参加者が「届けたい相手を意識すること」の大切さに気づき、それを今後の講座やワークショップを開催する際にどう生かすかを考える講座となった。
- ・生涯学習事業の推進に関する取り組みとして、シビックプライドを醸成するための「あかしウエルカムプレイス」を、テーマを決めて設置し、感想やアイデアなどをホワイトボードに気軽に書き込むように参加型とすることで、明石のまちにより興味関心を持つきっかけとした。テーマとして「10

年後、20年後に残したいあかしの景観アンケート」、「明石のまちを楽しむMAP あかし×パン学編」など月ごとに定めた。

- ・つながる本棚 hito-haco の運営及びブックスポットへの支援として、「明石まちなかブックスポット」の各拠点情報を、まちナビ AKASHI 内にホームページとして掲載し、市民に向けて情報発信を行った。また、hito-haco オーナー募集説明会を実施した。
- ・まちの魅力と出会うための地域学講座として、あかし学では、市民が日常生活に身近なテーマを通じて、趣味や関心ごとをきっかけに人や地域社会とつながり、明石での暮らしを楽しむきっかけとなることを目指し、パンをテーマに明石を多角的に学べる全4回の講座を開催した。
- ・まちをより深めるための「マイあかし学学会」の企画・準備として、市民それぞれが興味を持つ明石の人・物・事を主体的に探究し、その成果を発表・共有する場として「マイあかし学学会」の開催に向けた企画検討を進めた。「マイあかし学学会」は、来年度以降に本格始動を予定している「あかし学研究所」の一環として位置づけ、自分自身の中にある明石への関心や学びを表現し、他者に伝える機会とする。
- ・市民活動支援及び地域、行政との協働の推進に関する取り組みとして、仲間・参加者を広げるための講座、ワークショップのつくりかた講座やNPO・地域活動の資金調達セミナーを実施し、市民活動の基盤でもある仲間づくりや資金獲得について考える機会づくりを行った。
- ・男女共同参画・女性の活躍推進に関する取り組みとして、男女共同参画に関する先駆的テーマの普及啓発で、パープルリボンキャンペーン事業で市民団体と連携した「イマドキの性のおはなし」、他団体と連携した「これから性の学び方（ボードゲーム体験会）」の講座開催、男女共同参画週間にあわせて県男女共同参画センターと明石商工会議所との共催で女性活躍応援のための講座を行った。当事者・家族等に対するエンパワメント事業として、対人援助職向けと一般向けのマインドフルネス講座を開催した。隔月で開催されている「本をとおして自分と向き合う時間」は、本好きの人のつながりの場として定着した。

多様なチャレンジを応援するキャリアデザイン・ライフデザイン支援の実施としては、ハローワーク、県男女共同参画課センターなどとの共催、市内化粧品店等の連携など「再就職セミナー」、「プチ起業セミナー」、「メイク・ヘアメイク 所作と笑顔」「資産運用セミナー」など多様なセミナーを行った。

4 所管課総合評価

- ・利用者アンケートの顧客満足度において、満足が、42.6%、やや満足が30.3%、普通20.8%となり、良好な結果が得られた。事業達成度では、2023年度と比較すると、稼働率2.4%の増、貸館利用者19,563人の増となっている。事業計画で示した目標値を上回り、新型コロナウイルスの影響がなかった2019年度稼働率65.7%を超える68.9%の数値に至った。
- ・2024年度は第2期の指定管理期間の2年目であり、ウィズあかしの固定化されたイメージの変化を促進するため「イメージチェンジ」をキーワードに上記3 その他評価の参考となる特記事項にあるように、様々な事業に取り組んだ。
- ・本年度に開始、または企画・準備を進めた下記事業が次年度に向け、計画的に実現し、発展していくことを期待している。

- (1) 明石のひと、もの、ことを主体的に探究する市民が参画できる市民研究所「あかし学研究所」や、まちをより深めるための「マイあかし学学会」
- (2) 自助グループの立ち上げ・運営支援
- (3) 「わたしとまちがつながる交流拠点」を目指した、まちとつながる編集室「ローカルグッド・あかし」
- (4) 「ボラ×マチ AKASHI」

・施設維持管理業務においても適時適切に実施され、効率的・効果的な施設管理に努めている。施設の老朽化に伴う課題もあるが、引き続き市と協議の上、適切な対応を求めていく。

・職員研修、個人情報保護や安全面での対応については、各種の取り組みを行っており、適正に実施されている。

以上のことから、2024年度において、指定管理者による適正な管理運営がなされると判断する。